

MGMのオンライン化戦略と 大阪IRの未来

日本のどこにもカジノはいらない
大阪カジノ計画撤回府民大集会

2025年12月27日

鳥畠与一

(静岡大学名誉教授)

はじめに 万博終わって、いよいよ大阪IRですが・・・

MGM OSAKA CONSTRUCTION PROGRESS



資料：MGMインターナショナル、プレゼン資料(25.10.29)より 進む液状化対策？

再確認 実は「撤退寸前」であった！？23年春「事業前提条件成就」せず

◆ 7 条件のどれが成就していない？

- ① 税務上の取扱い→変更なし
- ② カジノ運営委員会規則→変更なし
- ③ 資金調達→CLから融資契約の締結

④ 開発→この綱引きが最終まで継続？

- ・ 土地・土壤への悪影響が生じていない
- ・ 公共インフラ整備等の制限が投資リターンに著しい悪影響を与えない
- ・ 「**総費用が1.27兆円から増加することが見込まれないこと**」が締結の条件だった！

⑤ 新型コロナウィルス感染症→変更なし 観光需要がコロナ前の水準までの回復

⑥ 財務→変更なし

⑦ 重大な悪影響→変更なし

コントロールできない著しい悪影響



融資の確実性、土地問題の費用負担、収益の見込み、工事費負担が争点だった

事業前提条件の状況と対応について

【事業者の見解】

- ・ 判断基準日において事業前提条件が成就していないものと判断。
- ・ 事業実現に向けた意思に変わりはなく、引き続き、事業実現に向けて必要な手続きや準備を進め、事業実現に向けて最大限尽力してまいりたい。
- ・ 他方で、条件が成就していない現状においては、最終的な事業実施判断を行うことができる状況はない。
- ・ 現時点においては、基本協定を解除しないこととし、条件に基づく解除権を規定する等、合理的に必要な範囲の修正を行ったうえで実施協定の認可申請を行っていきたい。

【府市の考え方】

- ・ 判断基準日において事業前提条件が充足しておらず、最終的な事業実施判断ができないことにも相応の**合理性**がある。
- ・ SPCは、継続的に相当の資金投下をしながら、設計、調査、工事調整等の各種準備作業を進めているところであるが、今般の約1,900億円にのぼる事業費増加に対しても、中核株主2社自らの追加投資という非常に大きな経営判断を行うなど、事業実現に向けた強い意志を有するとともに、事業実施に向けた具体的な事業進捗も認められる。
- ・ 条件未充足の場合におけるSPCの解除権を実施協定に規定した上で、引き続き、府、市及びSPCで緊密に協力・連携し、実施協定の認可申請を含め、事業実現及び早期開業に向けて必要な手続き及び準備を進めていく。

22年4月申請、23年4月認可、そして実施協定締結であったが「難航」（資料「大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域整備 関連協定（案）等について」（23.9.5）。成就していない事業前提条件とは何か？それは先延ばしで解決できるのか？

大阪IRの事業性について審査委員会で何が議論されたのか？

◆要求条件で最後まで確認に手間取ったのが土地問題であった

土地問題に関連して「本解除条件が適用されるような状況は顕在化しておらず、今後もそのような状況に至ることは見込みがたい」とされている（資料23.3.3）

事業者側：「合理的に必要な範囲の修正を行った上で実施協定の認可申請を行っていきたい」→土地対策費の府市の費用負担で決着か？

「通常予測され得る程度を超える地盤沈下対策」は、拡張整備時含めて自治体負担

◆財務の安定性について 22年12月23日資料

①経済環境の変化によるリスク：「建設費の高騰、人件費の増加、需要が計画上の数值よりも下振れする等のリスク」→1兆800億円から1兆2700億円に増額して対応

②建設中のリスク

・スケジュール遅延：許認可取得の遅れ、工事の遅れ、沈下対策、液状化対策、夢洲内での他の工事及び催事との輻輳等→建設コストの増加リスク→完成時期の一年延期

③運営中のリスク：中国人顧客の来日・来阪人数の減少（特にVIPとプレミアムマス顧客）等の地政学リスク、競合施設開業リスク、日本人顧客数の計画未達等



大阪IRの事業性について懸念された問題は、この間改善されたのか？

アベノミクスの負の遺産&サナエリスクで一層悪化しているのではないか！？

これが「軽微な変更」？ 大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画／大阪府 (おおさかふ) ホームページ [Osaka Prefectural Government]

区域整備計画 (2025年5月9日)

【図表2：資金調達計画の概要】



【図表3：資金調達の内訳】

資金の内訳及び調達方法		種類	金額	調達割合	資金提供者
自己資本	資本金	普通株式	約3,060億円	約24%	合同会社日本MGMリゾーツ
			約3,060億円	約24%	オリックス株式会社
			約1,270億円	約10%	中核株主以外の少数株主全体
		自己資本合計	約7,400億円	約58%	
他人資本	借入金	シニアローン	約5,300億円	約42%	株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーション参加金融機関
	他人資本合計		約5,300億円	約42%	
資金調達総額・割合		約1兆2,700億円	100%		
(うち、設置運営事業等の費用総額・割合)		約1兆2,700億円	100%		

審査委員会「資材価格はここ2年で約20%の上昇、人件費は約9%の上昇。資材価格の高騰等の外部要因による」

区域整備計画 (2025年9月12日)

【図表2：資金調達計画の概要】



【図表3：資金調達の内訳】

資金の内訳及び調達方法		種類	金額	調達割合	資金提供者		
自己資本	資本金	普通株式	約4,280億円	約28%	合同会社日本MGMリゾーツ		
			約4,280億円	約28%	オリックス株式会社		
			約1,270億円	約8%	中核株主以外の少数株主全体		
		自己資本合計	約9,830億円	約65%			
他人資本	借入金	シニアローン	約5,300億円	約35%	株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーション参加金融機関		
	他人資本合計		約5,300億円	約35%			
資金調達総額・割合			約1兆5,130億円	100%			
(うち、設置運営事業等の費用総額・割合)			約1兆5,130億円	100%			

ORXプレゼン(25.11.22)「大阪IRは、区域整備計画を変更（事業費の増額）。建築工事の進捗に応じて引き続き拠出する予定」

高騰する建築費

IR施設の投資の金額の見込み

(単位：億円)

項目名	初期投資額 (消費税抜)
1.建設関連投資	9,545
(1) 建築物整備費	7,988
①建築工事費	7,221
カジノ施設	537
1号：国際会議場施設	298
2号：展示等施設	278
3号：魅力増進施設	119
4号：送客施設	11
5号：宿泊施設	2,465
6号：来訪及び滞在寄与施設	3,513
②建築関連費用	767
(2) その他建築関連投資	1,557
2.その他初期投資額	3,144
初期投資総額 (=1.+2.)	12,689

IR施設の投資の金額の見込み

(単位：億円)

項目名	初期投資額 (消費税抜)
1.建設関連投資	11,951
(1) 建築物整備費	11,285
①建築工事費	10,435
カジノ施設	776
1号：国際会議場施設	493
2号：展示等施設	339
3号：魅力増進施設	172
4号：送客施設	17
5号：宿泊施設	3,562
6号：来訪及び滞在寄与施設	5,077
②建築関連費用	849
(2) その他建築関連投資	665
2.その他初期投資額	3,179
初期投資総額 (=1.+2.)	15,130

IR施設全体に対する投資による経済波及効果

(単位：億円)

建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計
IR施設（建設）	9,855	4,641	2,909	17,405
IR施設（開業準備）	1,035	439	252	1,726
合計	10,890	5,080	3,161	19,131

IR施設全体に対する投資による経済波及効果

(単位：億円)

建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計
IR施設（建設）	12,434	5,855	3,670	21,960
IR施設（開業準備）	1,047	444	255	1,746
合計	13,481	6,299	3,925	23,706

審査委員会評価「資材価格や建設労務単価の高騰等の外部要因によるものであり、IR施設の規模や機能、カジノ収益の活用のあり方など、計画の内容の実質的な変更を伴う変更ではないと判断される」→建築費コスト増は投資額の増加による収益見込みの低下や税負担増を招く！

予想される建設コスト増加

大阪IR建設工事について

2025年11月
大阪府・大阪市IR推進局

【大阪・夢洲地区】



【IR施設配置図】



■事業者（建築主）

MGM大阪株式会社

■工事施工者

・MGM大阪

(仮称) 大阪IRプロジェクト ブロックB 本体建物工事共同企業体

※ (株)竹中工務店、(株)竹中土木、(株)錢高組、南海辰村建設(株)、(株)淺沼組、(株)松村組、(株)森組

・MUSUBIホテル、関西ツーリズムセンター、エリキーセンター、フェリーターミナル、結びの庭
大林組・大鉄工業・TSUCHIYA・富国建設共同企業体

・MICE施設（国際会議場施設・展示等施設）

前田建設・奥村・三井住友建設・大末・前田道路特定建設工事共同企業体

■工事工程

2025年4月24日（着手）～2030年夏頃

■事業スケジュール



◆IR事業用地の土地課題対策 (液状化対策・地中障害物撤去・土壤汚染対策)

- ・液状化対策工事 : 2023年12月～ 実施中
- ・地中障害物撤去 : 2024年8月～ 実施中
- ・土壤汚染対策工事 : 2025年4月～ IR建設工事に併せて実施

<土地課題対策費用 概算見込額（令和7年11月時点）>

項目	概算見込額	債務負担行為限度額
液状化対策費	約252億円	(410億円)
地中障害物撤去費	約10億円	(22億円)
土壤汚染対策費	約217億円	(356億円)
総額	約479億円	788億円

※（ ）内は債務負担行為設定時の概算見込額

※建設資材価格・労務単価の上昇に伴うインフレ率の適用により、概算見込額から一定の増額が生じる見込み。

公式の見込みは公表されていないが、AIによると「今後5年の大型建設工事コストは、何もなくとも +10～15%、条件が悪いと +25%前後まで上がる。最大の変数は労務費」と予想。大阪万博の場合は誘致時1250億円が最終的には2350億円、1.9倍増となったとされる。

どんな「軽微な変更」が行われて来たのか？

◆避けられない事業費の拡大

申請時当初の1兆800億円が、実施協定時に1兆2700億円に引き上げられ、それが1兆5130億円、1.4倍に増加した。今後2030年秋に向けた工事費の増大はこの予算枠で収まるとは到底考えられない。「事業費増加分は中核株主の出資で対応」(審査委員会評価)とされるが、**MGMは採算悪化にどこまで耐えれるか**(22年131円→25年150円の円安でドル負担増は緩和されているが、それでも23.4億ドルから28.5億ドルに増大)？

◆これも「軽微な変更」？

- ・MICE施設で消えた「VIP会議室」「エグゼティブボードルーム」
- ・開業3年目の当期純利益予想が850億円から670億円に縮小（売上5200億円は変更なしで、営業CF黒字は前倒しだが）
- ・削除された「夢洲1区（グリーンテラスゾーン）における太陽光発電事業」
- ・事業費拡大に伴い経済効果や雇用への影響は上積みされているが・・・
- ・展示施設の収容人員の縮小（22500人が5122人へ消防法上の収容人員が理由）
- ・交通機能としての「係留施設」の消滅



今後の建設費コスト増加と収益見込みの悪化がMGMの経営判断にどう影響？⁸

NY州におけるリゾート型カジノ建設の推進の顛末の教訓

◆フルスペックの商業カジノ合法化(2013年) 7つまで認可 (南部は7年後から)

州北部に限定した認可選考 3地域に最大4か所認可(16の申請) 期待外れの実績

州南部における認可の開始 3か所 (23年1月にRequest for Application開始)



Gaming Facility Location Board→**Community Advisory Committee**で1次審査

Prove they have acquired **public support** via approval of the applicable CAC

- ①Bally's Bronx ブロンクス 40億ドル **Bally's** 9月29日に5対1で認可
 - ②Metropolitan Park クイーンズ 80億ドル **HardRock** 9月30日に6対0で認可
 - ③Resort World New York City クイーンズ 55億ドル **Genting** 9月25日に6対0で認可
 - ④**MGM Empire City** ヨンカー 23億ドル 9月25日に5対0で認可→10月15日に撤退
 - ⑤The Avenir マンハッタン 70億ドル **Rush Street** 9月17日に4対2で否決
 - ⑥**Caesar** Palace Times Square マンハッタン 54億ドル 9月17日に4対2で否決
 - ⑦The Coney ブルックリン 30億ドル **Global Gaming** 9月29日に4対2で否決
 - ⑧Freedom Plaza マンハッタン **Mohegan** 9月22日に4対2で否決
 - ⑨Hudson Yards West マンハッタン 120億ドル **Wynn** 5月に地元住民反対で**計画中止**
 - ⑩611Fifth Avenue マンハッタン **Saks Global** 4月に地元住民の反対で**計画中止**
- ➡4つの建設申請がGaming Facility Located Boardの審査に進んだが、**MGM**が**撤退**し3枠に3申請が争う状態に。25年12月末までに決定予定

MGMのNYCカジノ申請からの撤退 2015年10月14日

◆突然の声明：MGM Yonkers Inc., a subsidiary of MGM Resorts International
“Today withdrew its commercial casino license application to the New York Gaming Commission and the Gaming Facility Location Board.”

◆理由：収益見通しの悪化による23億ドルの投資の魅力減退

“ Since submitting our application in June, the competitive and economic assumptions underpinning our application have shifted, altering our return expectations on the proposed \$2.3 billion investment.

→過当競争とライセンス期間の短縮

"The newly defined competitive landscape – with four proposals clustered in a small geographic area – challenges the returns we initially anticipated from this project. Also, our proposal to renovate and expand Empire City Casino was predicated on the receipt of a 30-year commercial casino license but based on newly issued guidance from the State of New York we now expect to qualify for only a 15-year license.

→現行の経営（2019年買収のEmpire City Casino）は継続する

" The property has generated more than \$5 billion for New York State education, including \$1.6 billion under our ownership. we remain committed to operating the property in its current format and believe it will continue to enjoy success serving customers in Yonkers and the surrounding communities."

大阪IRを巡る環境の変化

◆高市政権の成長戦略：アベノミクスの復活！？

国交省大臣への9項目の指示の1つが「IR政策推進」とされるが・・・

→高市版「日本成長戦略会議」の重点17項目には「観光」は入っていない。

→早苗リスクの顕在化 日中関係悪化による中国からの訪日客激減

関西圏の依存度 30%前後

◆IRカジノを巡る環境の変化

①観光立国の幻想崩壊 IR無しの観光客増加と観光公害の深刻化

②アジア市場の変貌 マカオの脱ジャンケット＆脱VIP化の進行

③ギャンブルのオンライン化と異次元の危険性：依存症や八百長の深刻化

→米カジノ企業のオンラインギャンブル推進と欧米企業再編成

オン・オフのギャンブル統合：單一口座管理と報酬システム一体化

オムニチャンネル戦略：あらゆるギャンブルへの誘導とAIによる操作

例えばMGMは：欧洲Entainとの合弁でBetMGM設立

欧洲LeoVegas買収でMGM Digital部門設立



日本市場に魅力はあるのか？日本社会にメリットはあるのか？

マカオ：脱VIP & 脱カジノの進行

表 マカオの市場構成

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
店舗数	41	41	41	42	30	30	30	28
スロット	16,059	17,009	8,854	11,758	10,775	12,000	12,000	12,000
テーブル	6,588	6,739	6,080	6,198	5,605	6,000	6,000	6,000
カジノ収益	302,846	292,455	60,441	86,863	42,198	183,059	226,782	181,343
VIP Baccarat	166,097	135,228	26,280	28,489	10,149	45,189	54,764	47,677
Baccarat	102,397	120,773	26,936	48,410	26,003	110,490	137,907	106,409
Slot	15,048	15,318	3,475	4,718	3,124	10,915	12,919	10,233
VIP Baccarat	54.8%	46.2%	43.5%	32.8%	24.1%	24.7%	24.1%	26.3%
Baccarat	33.8%	41.3%	44.6%	55.7%	61.6%	60.4%	60.8%	58.7%
Slot	5.0%	5.2%	5.7%	5.4%	7.4%	6.0%	5.7%	5.6%

資料：Macau Gaming Inspection and Coordination Bureau Gaming Statisticsより

単位はMOP million(1HKD=1.03MOP)

注：25年は第3四半期まで

マカオのライセンス更新（23年1月から10年）以降、「衛星カジノ」禁止（移行期間あり）となり、本年末には全て消滅予定とされる。ジャンケット規制強化でバカラが激減し、富裕層＆脱カジノが進められている。

追加募集の開始（27年5月6日～27年11月5日）への動き

令和7年12月17日
観光庁

「特定複合観光施設区域整備法（IR整備法）第九条第十項の期間を定める政令の一部を改正する政令案」に関する意見公募手続（パブリックコメント）について

特定複合観光施設（IR）の整備について、都道府県等による区域整備計画の申請を新たに受け付けることを検討しております。つきましては、申請期間を定める政令の改正案について、意見公募手続を実施しますので、お知らせします。

1. 意見公募手続（パブリックコメント）の対象

「特定複合観光施設区域整備法第九条第十項の期間を定める政令の一部を改正する政令案」

2. 改正の背景

IR整備法では、IR事業を行う区域を整備しようとするときには、都道府県または政令指定都市が民間事業者と共同で区域整備計画を作成・申請し、国土交通大臣の認定を受けることとなっています。

区域整備計画は、3を上限に認定することができますが、現在、1（大阪・夢洲地区）のみが認定されており、計画の申請期間については、同法第9条第10項に基づき、政令で定めるものとされていますので、新たに申請期間を定める政令の改正案について、意見公募手続を実施します。

3. 改正の概要

政令で定める申請期間に「令和9年5月6日から同年11月5日まで」を追加する。

4. 意見公募期間

令和7年12月17日（水）～令和8年1月16日（金）

5. パブリックコメントの詳細

電子政府の総合窓口（e-Gov）（<https://www.e-gov.go.jp/>）「パブリックコメント」（意見募集案件）欄から、ご確認ください。

◆政府・観光庁の動き

24年11月「IR誘致に関する意向調査」

東京都、北海道を含む複数の都道県が関心ありと回答。北海道は本年6月に道内自治体に意向調査、「IRに関する基本的な考え方」改定骨子案の報道（11.19）

和歌山県は？当時の知事は「和歌山県が未来永劫IRを諦めてしまう必要もありません」とメッセージ（22.4.20）

HardRock 「辛抱強く参画機会を待つ」

Wynn Resort 参加条件の緩和次第で意欲

森ビル社長 「カジノを含む統合型リゾートは東京が他の国際都市と競合する上で必要な要素」（23年12月ブルームバーク）

→大阪IRの成否をみんなが注視

「大阪IRの開業後の姿をしっかりと見極めたい」（和歌山知事12月12日）

1. MGMの経営戦略—オムニチャンネル化の推進



MGM RESORTS
INTERNATIONAL[®]

Operator of 18 properties
in the United States and Macau

Development underway with an integrated
resort in Japan and resort in Dubai



BETMGM

Sports betting and gaming
entertainment company in 29 North
American jurisdictions



MGM Digital

Online sports betting and iGaming
operator in 11 jurisdictions in Europe,
Canada, and South America¹

表 MGMの純収益構造 100万ドル

		2024	25Q1	25Q2	25Q3
Bet MGM	純収益	2,102	657	692	667
	iGaming	1,479	443	449	454
	Online Sports	554	194	228	202
	Handle	13,075	4,088	3,427	3,159
MGM カジノ	ラスベガス	1,960	538	457	450
	その他地域	2,738	672	710	696
	MGMChina	3,497	896	977	948
	MGM Digital	552	128	164	174
合計	地上型	8,195	2,106	2,144	2,094
	オンライン	2,585	765	841	830
	オンライン比率	24.0%	26.6%	28.2%	28.4%

資料：MGMとBetMGMの10K並びに10Qより

1. LeoVegasの対日収益について

◆対日進出：2019年9月四半期報告 LeoVegas was launched in Japan. P2
“Thus far during the year LeoVegas has launched operations in five new markets, where Japan is the most recent addition.P3 19年9月進出(18年10月ではない)

ブランドはLeoVegasとRoyal Panda

* 2020年Annual Report

”LeoVegas launches operations in five new markets, including Spain and Japan” この5か国の収益はRest of Worldに反映 資料参照



◆対日業務からの撤退：2022年8月→2022年9月にMGMに買収（5億5600万ドル）
LeoVegas to exit Japan and India on the brink of MGM deal→Dawg社に譲渡
→ 19年9月～22年8月は対日サービスで収益を挙げていた！ (Casino leo)

詳細は不明だが……

注記：2024年Annual Reportの記述

22年9月～22年末までの純収益1億3300万ドル, 営業損失1300万ドル, 純損失1500万ドル

“The operating results for LeoVegas are included in the consolidated statements of operations from the date of acquisition. LeoVegas's net revenue, operating loss, and net loss for the period from September 7, 2022 through December 31, 2022 were \$133 million, \$13 million, and \$15 million, respectively. P70

* 買収後(対日業務撤退後)のLV収益の指摘なので日本で稼いだ収益は含まれない！

◆MGM RewardとBetMGM Rewardのポイント交換が可能

MGMリゾート
地上型カジノ

MGM Digital
LeoVegasなどで
北米以外

BetMGM
欧州Entainとの合
併で北米

Single App Single Wallet
で、単一アカウントでのギャンブル紹介
報酬ポイントも統合…
…アカウントでのギャンブル提供

- 顧客へはスマホアプリを通じてあらゆるギャンブル紹介が行われる
- 顧客情報は統合管理されてAI等によって収益最大化に向けてゲーム操作と勧誘が行われる。
- オンラインで得たポイントは、世界中の地上型カジノで使用が可能となる。

オンライン客を地上型に誘導し、かつ地上型の客を至る所でオンラインに誘導する循環構造の形成

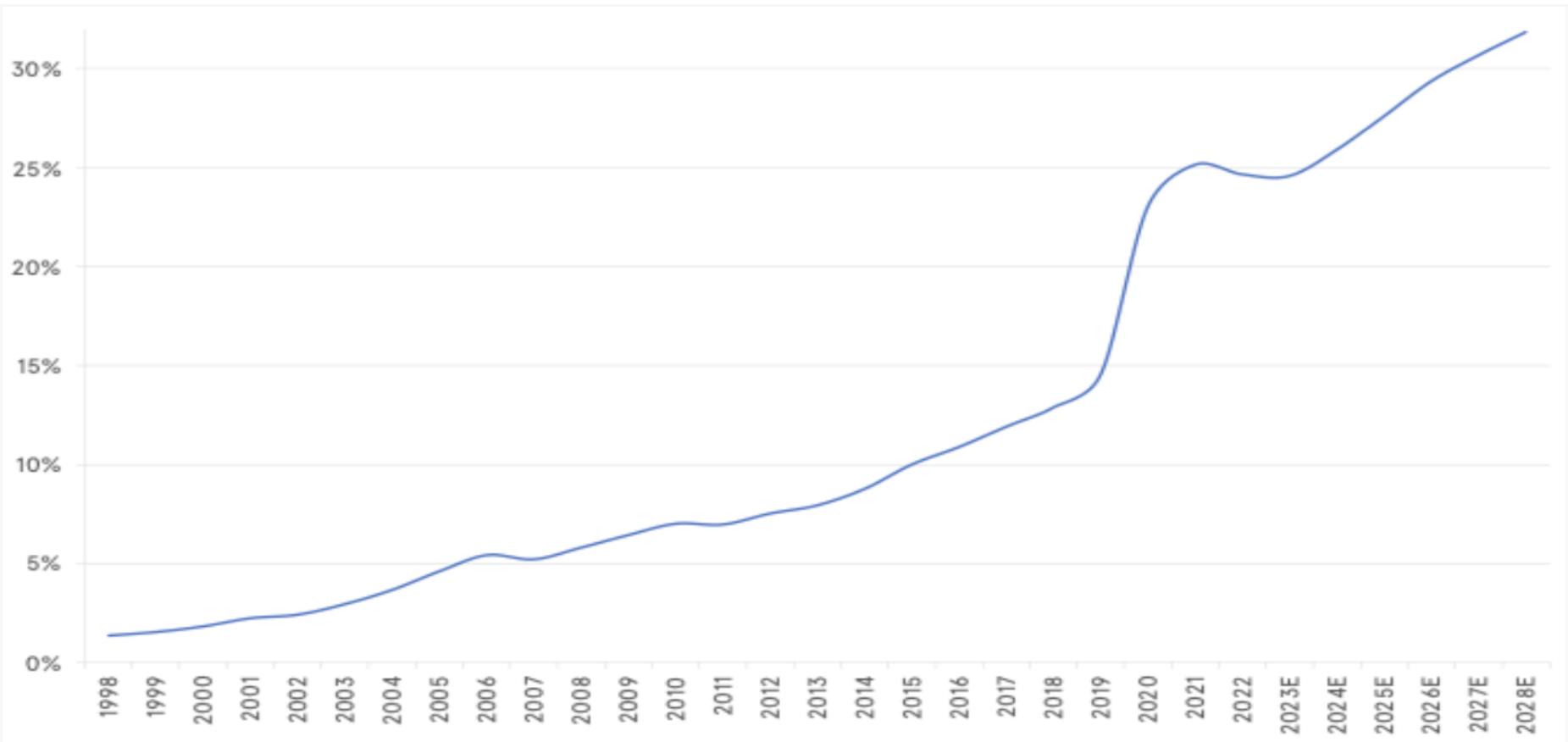
* MGM HPより

- You can earn BetMGM Rewards Points from your online wagering, and points can be redeemed for room nights, dining, and more at MGM Resorts nationwide.

「平均的なラスベガス来訪客は年1.2回しか訪れないが、オンラインで365日サービス提供することで“オンプロパティの体験のデジタル版”を提供できる」CEO¹⁶

オンラインギャンブル市場の拡大

Global Gambling Percentage of Gross Win Generated Online



Source: H2 Gambling Capital, January 2024

世界的なギャンブル市場は2030年には7000億ドル(102兆円)に増大するとされるが、その推進力はオンラインギャンブルの成長で市場シェアを急速に高めている。合法市場以上に違法市場が拡大し、合法市場の10倍以上とも

2. オンラインカジノ拡大と狙われる日本市場

◆世界的なオンラインギャンブル拡大と規制強化（ブロッキング）

例：スイスが2019年以降ブロッキング開始で2000以上のサイト閉鎖



規制の脆弱な国が標的に：近年急増した日本向けサイトの多くが上記閉鎖サイト

Gamesysが2017年以降日本での収益拡大で日本市場の魅力確認？

BallyのGamesys買収など大手オンラインカジノ企業の進出と規制市場から締め出されたサイトの増加

◆日本のギャンブル規制の脆弱性

刑法で賭博禁止も国内での賭場開設が前提の法体系：海外サイトは盲点

→日本では違法だが海外サイトは合法＝海外サイトは立件できない＝灰色

◆日本でのオンラインカジノ拡大のエコシステム：罪に問えない、安全安心の情報氾濫

海外サイト(日本向け紹介サイトでも130以上確認。単なる翻訳版も多数)

→無料版の提供（顧客情報を本体の宣伝勧誘に活用）

→アフィリエイト 紹介サイト(20以上確認。殆どは海外拠点)

SNS上の宣伝（ユーチューバー活用）

→メディア等での宣伝 無料版でのスポンサーやCM

急増するオンラインギャンブルへのアクセスと被害の実質放置

2025・2・16

スポーツに携わる人はもちろん、賭け事に興味を持つ人も考えるべきテーマだろう。米大リーグ・ドジャースの大谷翔平選手の銀行口座から不正に巨額の送金を行い、銀行詐欺罪などに問われた元通訳の水原一平被告に対し、カリフォルニア州の連邦地裁は求刑通り禁錮4年9ヶ月と盜んだ金1700万ドル（約26億円）の賠償を命じた。

起訴状などによると、動機は被告が2021年から始めたスポーツ賭博で、借金は約4067万ドル（約62億円）に膨らんだ。返済のため、銀行を務め、日常生活の補助も託されていた。こうした信頼を悪用した行為が断罪された。こうしたスポーツ関係者や選手が関わるギャンブルの問題は、海外でも日本でも繰り返されてきた。スポーツと赌博の近接性は、スポーツの公正性と信頼を傷つけかねず、常に注意を払う必要がある。

問題の背景に見えるのは、スマホなどを使ったオンラインによる賭博の拡大だろう。なかでもスポーツを対象にした賭博は近年、先進国を中心に、裾野を広げている。

拡大の要因には、ゲームの課金制度などの経験を通じて心理的な垣根が低くなっているとの指摘がある。加えて、合法化することで行政は税収増、スポーツ団体は視聴率上昇や人気拡大による放映権料増などを見込んで、推進側に回っている実態がある。

国内では、こうした海外のオンライン賭博に参加することは違法だが、十分周知されていないのではないか。最近では、卓球の五輪メダリストが賭博容疑で書類送検され、

一方で、借金が膨らんでもやめられない依存症への対策や教育は十分ではない。拡大ばかりがやみくもに進まぬよう、国には取り組みを強めてもらいたい。

オンライン賭博

拡大と依存に深い懸念

◆世間の注目のきっかけ 22年4月8日

山口県阿武町が誤って送金した4630万円がオンラインギャンブル資金となり2週間で消えた！



18年10月 ギャンブル依存症対策基本法

19年4月 推進基本計画策定

22年3月 基本計画見直し「オンラインカジノ拡大という想定外の事態」
オンラインカジノに係る賭博事犯の取締り強化が明記：警察庁が担当

22年6月 岸田総理が国会でオンラインカジノの違法性明言

25年4月 基本法改訂など規制強化



最初の日本向けサイトは1996年で、初掲発(無店舗型)は2016年。国会での初質問は2013年だが、安倍答弁で対応先送り

越境オンラインギャンブルの違法性



警察庁・消費者庁

「灰色市場日本」：日本向けサイトでは「合法性」「安全性」が強調

◆ 「賭博罪」について 刑法（明治40年法律第45号）の規定

第185条 賭博をした者は、50万円以下の罰金又は科料に処する。ただし、一時の娯楽に供する物を賭けたにとどまるときは、この限りでない

第186条 常習として賭博をした者は、3年以下の懲役に処する。2 賭博場を開帳し、又は博徒を結合して利益を図った者は、3月以上5年以下の懲役に処する。

オンラインギャンブル市場の分類

ライセンス		
市場分類	供給地	消費地
ホワイト	有	有
グレー	有	無
ブラック	無	無

資料：EU Green Report

注：グレー市場の合法性については供給地原則では合法、消費地原則では違法という判断になる。

警察庁調査について 賭け金額とギャンブル収益

表 違法オンカジ収益推計

日本からのアクセス数(3か月)	17,003,402
ベラジョン等バリーズ系シャア	16.9%
バリーズ日本収益 (23年307億円)	1815億円
上位10サイト集中度	84.2%
上位20サイト収集度	97.5%

資料：警察庁委託調査

注：40サイト対象調査で日本からのアクセス数が判明

している35サイト中のバリーズ系3サイトのシェア

を計算し、そこからバリーズ年次報告に基づく収益

推計を基にして日本における「ゲーミング収益」を

計算した。100を超える日本語サイトが存在するが

一部サイトへの集中度の大きさから実態に近いと

考える。

上記推計では約2千億円の違法オンカジ収益となる。これでも総賭け金額に対する収益比率(HE)は16.1%とかなり高い収益性と推計できる。

◆賭け金額の過大推計の可能性

利用者196.7万人 × 年平均賭け金額63万1523円
= 1兆2422億8956万6650円

*質問項目Q17～Q19（全部で35項目）

「平均賭額はいくらでしょうか」



公営ギャンブルとも異なるカジノギャンブルやスポーツベッティングの特質を理解しているのか？

- ・総賭け額と収益の違い

ハウスエッジが低いオンカジの場合はより多くの賭けを行わせる必要がある

- ・オンカジにおけるボーナスやフリースピン
無料の賭けを行わせて満足感を高める手
法が取られるために賭け額が膨張する



警察庁推計「市場規模」を公営ギャンブルと比較したり、ましてや「被害規模」と判断するのは不正確である。

ギャンブルの危険性を高めるオンラインギャンブル

◆水原一平氏のギャンブル被害の衝撃：訴状で明らかになったこと

約2年間で、賭け回数19000回、一日平均25回、最低賭け金10ドル、最高賭け金16万ドル、平均賭け金額12800ドルで、延べ3億2520万ドルの勝ち負けの繰返しの結果4060万ドル負け越しの「丸裸状態」！



オンラインギャンブルの怖さ：賭け行為の全情報が電子データとして記録集積され、個人の性格やギャンブル癖などがプロファイリングされ、巧みに誘導されていく

◆A・シュール前著：「直観と山勘が科学と交替するとき」216頁

・プレイヤー追跡システムの開発(1985年、ACハラーズ)

磁気テープ付きプラスチックカードの導入とデータ集積

「ギャンブリングマシンはスタンドアローンのゲームボックスから、ネットワーク化された電子監視デバイスに変貌した」217頁「追跡能力は1980年代半ばより、ギャンブリングマシンの機能レパートリーを増やし始め、それらを単なるゲームから監視モニター、データー収集装置、マーケティングツールへと変えた」427頁

「ギャンブリングマシンは、補助的な財政・追跡のテクノロジーと連動して、感情的なバランスとプレイの継続性を助長するように設計されている—それにより「継続的な生産性」が促進されるのだ」467頁→オンラインギャンブルで一層の進化

オンラインギャンブルの危険性

①アクセスの容易性

「いつでもどこでも好きな時に好きなやり方」でギャンブル可能

②秘密性と匿名性の大きさ

没入型インターフェイス(highly immersive interface)で時間制限なくギャンブル

③賭け対象の無限性と高密度化

コンピューター上のプログラム操作やAIによるオッズ提供で賭け行為が高速化

インプレイ型スポーツ賭博含めて賭け対象が無限に拡大可能：MLBの事例

無数のオンラインギャンブルサイトへのアクセスが容易

④デジタル通貨使用による現金感覚の喪失と借金の容易性

クレジットカード使用による所有金以上の賭けの容易性

⑤SNS上での様々な宣伝に晒されてしまう

有名人のアフィリエイトの情報発信や宣伝勧誘の標的化

⑥ゲームやスポーツとの境界が曖昧化でギャンブルへのハードルが低下

⑦ネット上のギャンブルが全て電子データとして記録集積され、リアルタイムでビッグデータの管理分析が可能でプロファイリングされてしまう！

⑧AIによる動的ハウスエッジ調整(Dynamic Game Adjustment)が可能に

顧客還元率の動的調整やオッズの個別化が可能になったとされる

37
回のサイト訪問が、44企業の83ドメインへの2
154のデータ転送をもたらす。

ネット上でターゲットにされている？

SIGNAL (TransUnion)

Signal, a marketing data firm owned by TransUnion, received behavioural data about pages visited, games played, customer registration, cash deposits and login activities.

Signal learned, for example, that Data Subject 2:

15.02.2021 18:50	Visited the skycasino.com homepage
19.02.2021 10:42	Visited the "Slots" category page
19.02.2021 10:43	Started registering as a customer
19.02.2021 11:06	Registered as a customer and deposited £ 30
19.02.2021 11:23	Played the "Batman & Catwoman Cash" game
26.02.2021 18:45	Visited the "Quantum Blackjack" game page
26.02.2021 18:49	Visited the "Blackjack" category page
08.03.2021 16:37	Logged in
08.03.2021 16:39	Visited the "Roulette" category page
08.03.2021 16:41	Played the "European Roulette" game
08.03.2021 17:03	Deposited £ 100 with Visa, balance is now £ 101
08.03.2021 17:05	Visited the "Slots" category page
08.03.2021 17:06	Played the "Djinn of Storms" game

IOVATION (TransUnion)

Iovation, a fraud surveillance firm owned by TransUnion, received behavioural data about customer registration, cash deposits and withdrawals. Iovation learned that Data Subject 2:

19.02.2021 10:59	Started registering as a customer
19.02.2021 11:02	Deposited cash
08.03.2021 11:06	Deposited cash
08.03.2021 17:13	Withdraw cash

In addition, Iovation was observed to receive data during the following user interactions:

19.02.2021 11:34	Clicked 'deposit'
26.02.2021 18:46	Clicked account details
08.03.2021 17:35	Clicked account details and 'cool off'

PLAYTECH

When Data Subject 2 played Sky Casino's slots game "Djinn of Storms", the gambling technology firm Playtech received data on every spin, the amounts bet, won and lost:

08.03.2021 17:06	Loading "Djinn of Storms" game
08.03.2021 17:06	Slots game finished loading
08.03.2021 17:07	Bet £ 1, spin, won £ 1,20
08.03.2021 17:08	Bet £ 1, spin, won £ 0,20
08.03.2021 17:08	Bet £ 1, spin, won £ 0,20
08.03.2021 17:08	Bet £ 5, spin, lost
08.03.2021 17:09	Bet £ 5, spin, lost
08.03.2021 17:09	Bet £ 5, spin, lost
08.03.2021 17:09	Bet £ 3, spin, lost

ADOBE / SKY UK

A server that appears to be operated by Adobe and Sky UK received behavioural data about pages visited, games played, cash deposits, withdrawals and player safety:

Adobe and Sky UK learned, for example, that Data Subject 2:

16.02.2021 10:34	Visited the "Slots" category after a Google search
19.02.2021 11:23	Played the "Batman & Catwoman Cash" game
26.02.2021 18:45	Visited the "Quantum Blackjack" game page
08.03.2021 16:41	Played the "European Roulette" game
08.03.2021 17:03	Visited the "Roulette" category page
08.03.2021 17:05	Visited the "Slots" category page
08.03.2021 17:13	Withdrew £ 80
08.03.2021 17:38	Set a 24 hours "cool off" period

During registration, Adobe and Sky UK received detailed behavioural data about every step taken by Data Subject 2:

19.02.2021 10:42	Visited the "Slots" category page
19.02.2021 10:43	Started registering as a customer
19.02.2021 10:43	Entering the name
19.02.2021 10:44	Entering the date of birth
19.02.2021 10:45	Entering the postcode
19.02.2021 10:45	Entering postal address
19.02.2021 10:45	Displayed postal address
19.02.2021 10:46	Entering email address
19.02.2021 10:47	Entering phone number
19.02.2021 10:47	Choosing a username
19.02.2021 10:49	Entering mother's maiden name
19.02.2021 10:50	Answering other "security" questions
19.02.2021 10:53	Choosing a pin code
19.02.2021 10:54	Reviewing account data
19.02.2021 10:58	Accepted terms, account created
19.02.2021 10:59	Logged in, adding credit card info
19.02.2021 11:03	Choose Visa credit card for payment
19.02.2021 11:05	Deposited £ 30
19.02.2021 11:19	Clicked "go to my account"

* Data transmission to the host smetrics.sky.com, which is a CNAME to a host operated by Adobe

MEDIAMATH

MediaMath, a marketing data company, received behavioural data about pages visited, games played, customer registration, cash deposits, withdrawals, login activities and other activities.

MediaMath learned, for example, that Data Subject 2:

15.02.2021 20:24	Visited the skycasino.com homepage
15.02.2021 21:33	Visited the "Slots" category page
19.02.2021 10:43	Started registering as a customer
19.02.2021 11:02	Depositing cash
19.02.2021 11:06	Deposited £ 30
19.02.2021 11:23	Played the "Batman & Catwoman" game
19.02.2021 11:35	Clicked account details
20.02.2021 12:00	Logged in
26.02.2021 18:49	Visited the "Blackjack" category page
08.03.2021 16:37	Logged in
08.03.2021 16:41	Played the "European Roulette" game
08.03.2021 17:05	Visited the "Slots" category page
08.03.2021 17:06	Played the "Djinn of Storms" game
08.03.2021 17:12	Started to withdraw cash
08.03.2021 17:13	Completed cash withdrawal

FACEBOOK

Facebook received behavioural data about pages visited, games played, customer registration, cash deposits and login activities.

Facebook learned, for example, that Data Subject 2:

16.02.2021 10:43	Visited the "Slots" category after a Google search
19.02.2021 10:44	Started registering as a customer
19.02.2021 11:00	Deposited £ 30
19.02.2021 11:23	Played the "Batman & Catwoman" game
26.02.2021 18:49	Visited the "Blackjack" category page
08.03.2021 16:37	Logged in
08.03.2021 16:39	Visited the "Djinn of Storms" game page
08.03.2021 16:41	Played the "European Roulette" game
08.03.2021 17:06	Played the "Djinn of Storms" game

GOOGLE

Google received behavioural data about pages visited, customer registration, cash deposits and login activities.

Google learned, for example, that Data Subject 2:

19.02.2021 10:40	Visited the skycasino.com homepage
19.02.2021 10:44	Started registering as a customer
19.02.2021 11:02	Added a credit card
19.02.2021 11:06	Deposited £ 30
20.02.2021 12:00	Logged in
08.03.2021 17:03	Deposited £ 100
09.03.2021 21:39	Logged in

MICROSOFT

Microsoft received behavioural data about cash deposits and customer registration.

It learned, for example, that Data Subject 2:

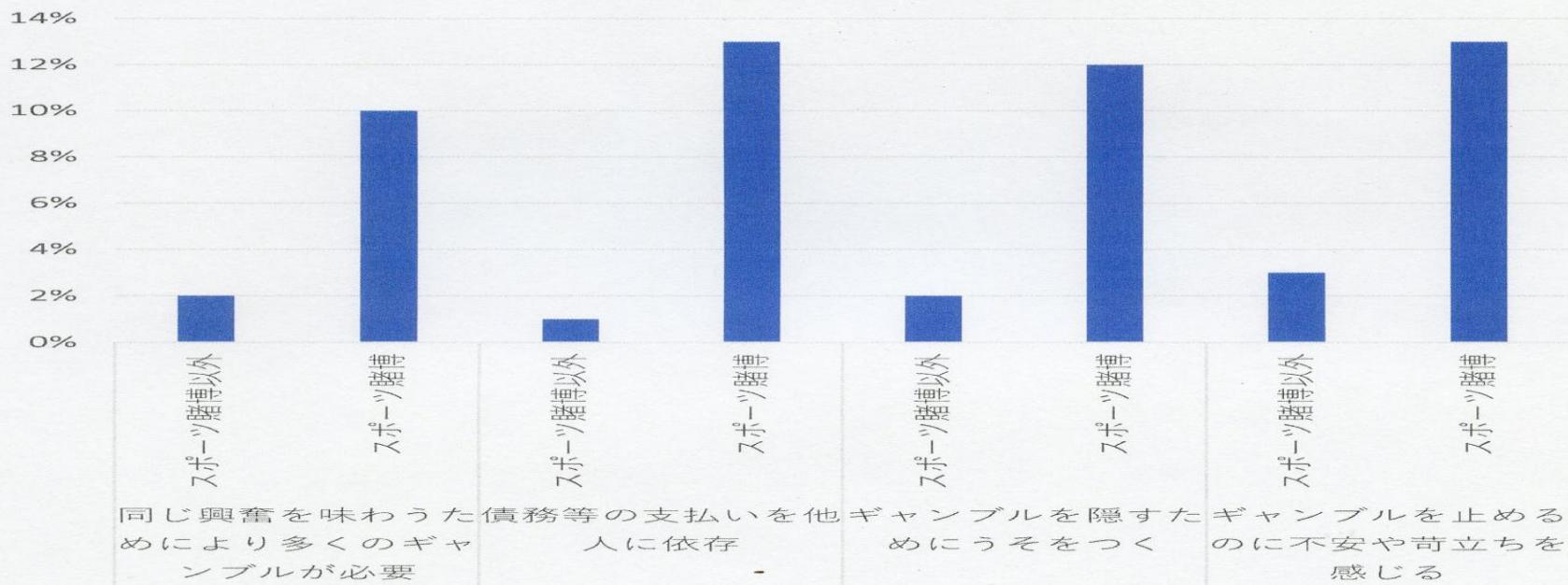
19.02.2021 10:44	Started registering as a customer
19.02.2021 11:06	Deposited £ 30
08.03.2021 17:03	Deposited £ 100

オンラインギャンブルの特質：明らかになる危険性

表 スポーツ賭博の有無と依存症

同じ興奮を味わうためにより多くのギャンブルが必要	スポーツ賭博以外	2%
	スポーツ賭博	10%
債務等の支払いを他人に依存	スポーツ賭博以外	1%
	スポーツ賭博	13%
ギャンブルを隠すためにうそをつく	スポーツ賭博以外	2%
	スポーツ賭博	12%
ギャンブルを止めるのに不安や苛立ちを感じる	スポーツ賭博以外	3%
	スポーツ賭博	13%

スポーツ賭博の有無と依存症

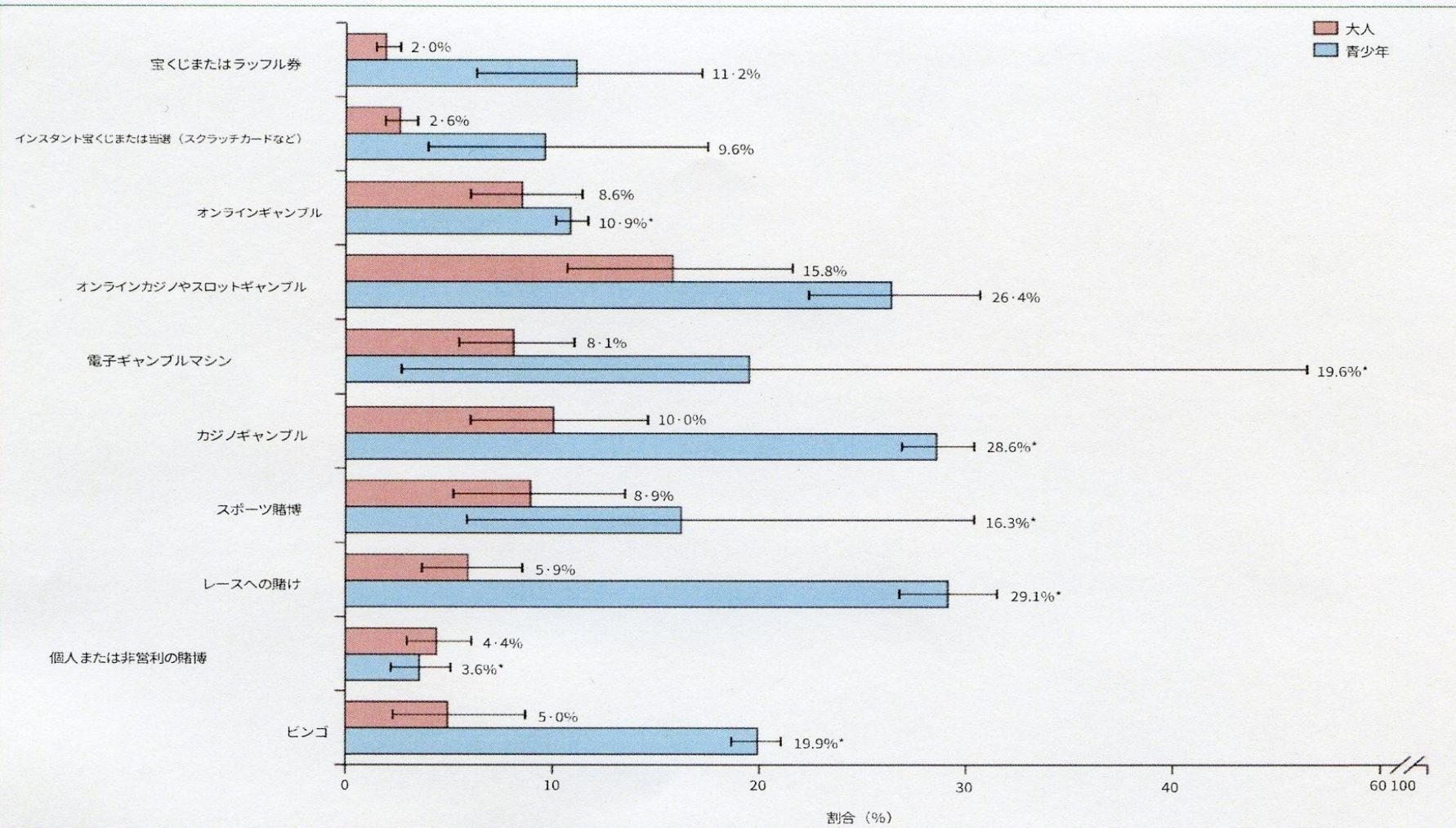


資料 : National Council on Problem Gambling

National Survey on Gambling Attitudes and Gambling Experience 2.0 より作成

「これほどまでに急速にインターネット投票が拡大するとは想定されていなかった」(第8回ギャンブル依存症対策関係者会議) R3.12 この驚きは世界で起きている！

青少年における依存症率の高さ ランセット報告より



活動の説明は相互に排他的ではありません。オンラインギャンブルはあらゆるオンラインギャンブルを指し、オンラインカジノはそのサブセットです。スポーツ賭博はオンラインかどうかにかかわらず、あらゆるスポーツ賭博を指します。電子ゲーム機はカジノでのギャンブルの最大の割合を占めることが多いです。トランと同僚のデータ²²⁴ *分析には3件未満の研究が含まれています。

終わりに どうなる大阪IRの経営主体？ 中国資本が乗り込んでくる？

◆MGM ChinaのPansy Hoの位置

The Company's Shares have been listed on the Hong Kong Stock Exchange since June 3, 2011. The Company's immediate holding company is MRIH, a company incorporated in the Isle of Man. The Company's ultimate holding company is MGM Resorts International, a company incorporated in Delaware, the United States of America, which is listed on the New York Stock Exchange. MGM Resorts International is our controlling Shareholder (with an interest in 55.95% of our issued share capital) and **Ms. Pansy Ho** and her controlled companies are our substantial Shareholders (with an interest in 22.49% of our issued share capital). We benefit from the complementary expertise of MGM Resorts International and Ms. Pansy Ho. 2024 Annual Report

